



# 福井県におけるクルマに頼り過ぎない社会づくりの取り組みと今後の展開

川本 義海 (福井大学大学院工学研究科)  
北川 愛子 (福井県総合政策部交通まちづくり課)

森下 満 (福井県総合政策部交通まちづくり課)  
田中 修造 (トヨタすまいるライフ)

## 1. はじめに

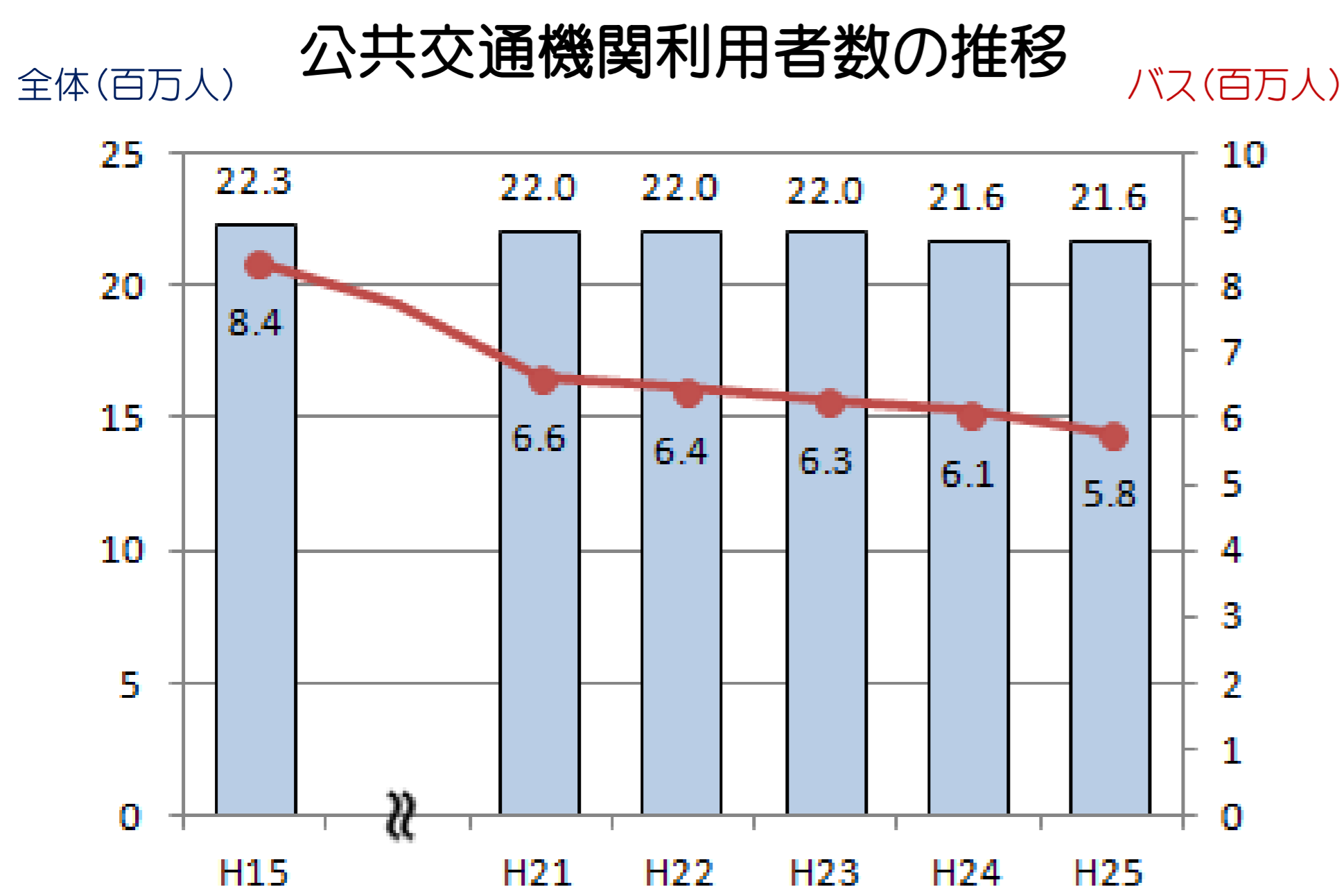
全国有数のクルマ依存型ライフスタイルが進んできた福井県において、過度なクルマ依存がもたらす公共交通の衰退と都市の拡散、また地球温暖化など、諸問題の緩和、改善は急務である。

そこで、平成23年度に、行政、企業、県民が協働で創設した「クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」の経緯とこれまでの活動実績を振り返り、今後の活動のさらなる進展と、持続的な取り組みのための要点を報告する。

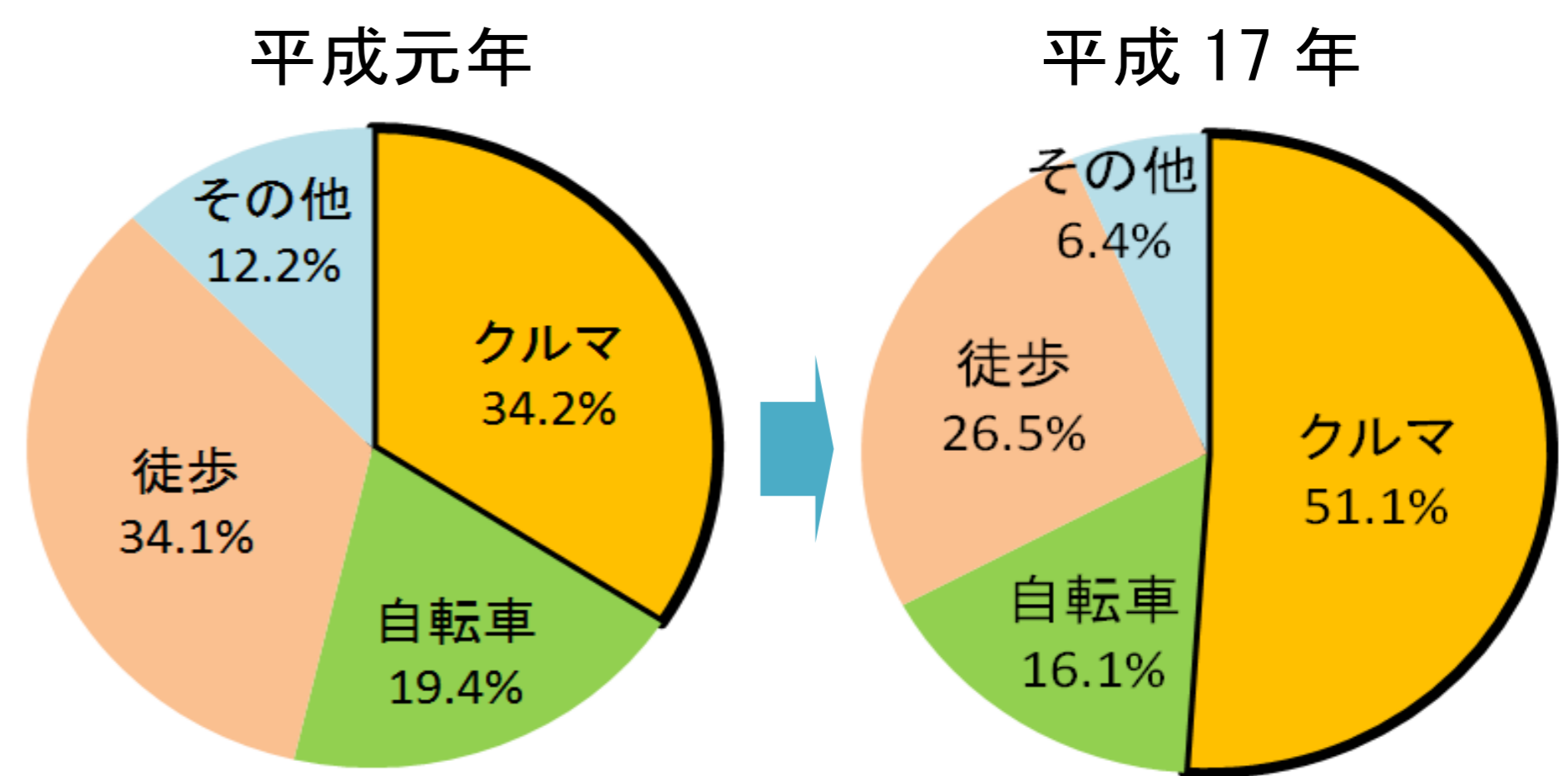
## 2. クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議

- 設立時期 2011年10月(第1回県民フォーラム開催)
- 構成員 37団体(福井県、17市町、企業、団体、学識経験者)
- 事務局 福井県総合政策部交通まちづくり課
- アクションプラン計画期間 2011年度～2014年度
- 活動内容 イベント等でのPR活動、県民運動推進月間の実施(10月)と街頭キャンペーン

## 3. 福井県におけるモビリティの現状

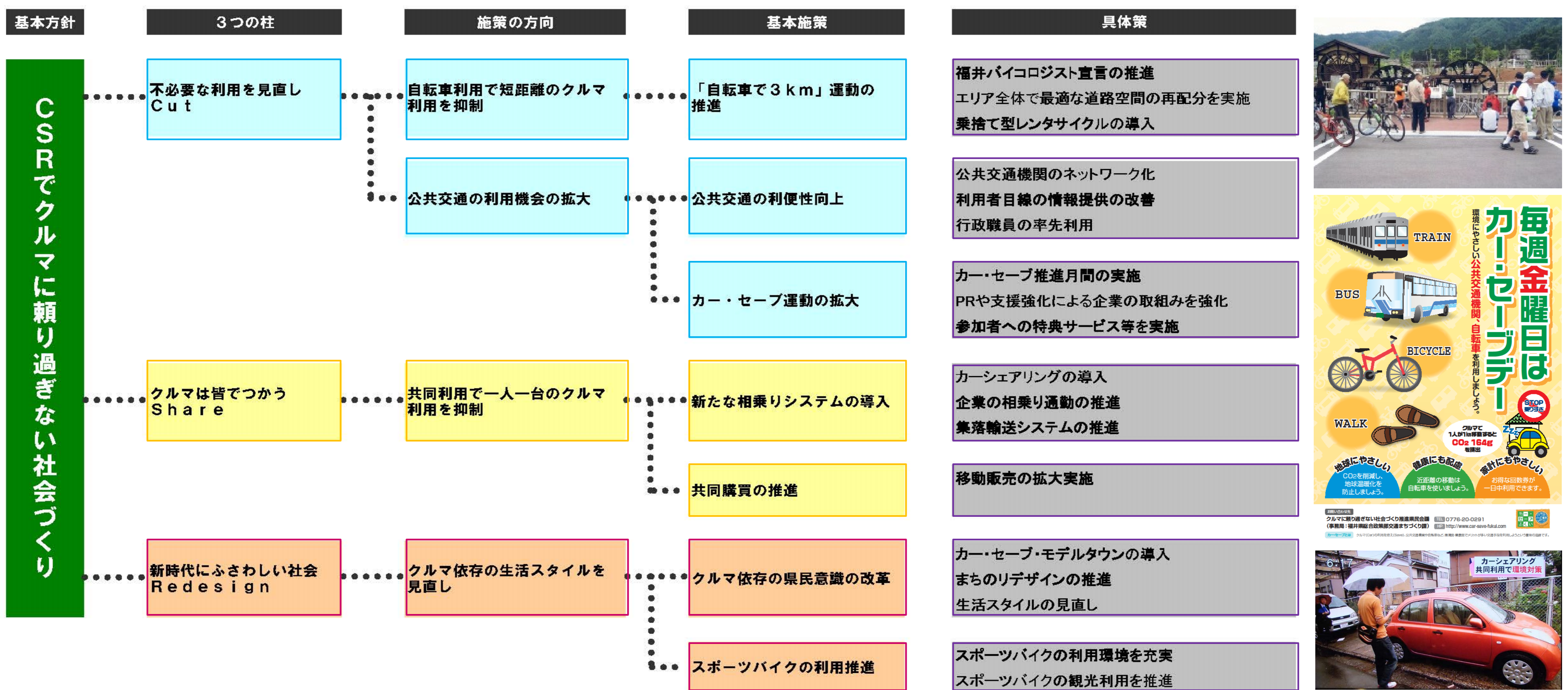


街なか3km未満の移動手段の変化(福井市)



出典：パーソントリップ調査

## 4. アクションプラン(CSR)の施策体系



## 5. おもな取り組みの内容

県民フォーラム(2013年3月)



本県初の超低床LRV導入に合わせて、フリートークおよび座談会を開催。参加者 約300人

福井バイコロジスト宣言(2011年度～)



自転車3km運動を推進する宣言者は、2014年度末で1,503人

カー・セーブ先進社会づくり実証事業(カーシェアリング)(2012年10月～13年3月)



利用者登録数 17人(1台あたり8.5人) / 利用実績 208時間、78回(使用車両2台、マーチ 160時間:49回、ノア 48時間:29回)

カー・セーブ運動(2008年度～)



月2回のノーマイカーデーから発展。当初は月2回を目標に開始し、その後、毎週金曜日を対象に拡大。クルマの代わりにバスや電車、自転車や徒歩で移動する運動への参加者は、181企業・団体(2010年度末)から251企業・団体(2014年度末)に拡大。

県民会議ホームページの開設(2013年度～)



## 6. 今後の課題

- カー・セーブに対する意識調査を比較(2008年度(カー・セーブ開始時)と2014年度)
- 参加企業・団体数は着実に増加
- ×△ 参加企業・団体の参加継続意欲がやや減衰している側面もあり
- とくに参加継続企業・団体に対する個別MMの重点化、県民運動に賛同する多くの未参加企業・団体に対して、中長期的にみて参加・実施可能なメニューの提示が必要。

## 7. 今後のおもな取り組み

- 福井バイコロジスト宣言者による交流会やサイクルイベントの開催
- 電車・バス利用デー、相乗りデーの設定
- 参加企業・団体の優良事例紹介と表彰制度の導入

